

高校生向け職業体験イベント「マイナビ進学ライブ・未来ビュー仙台」に参加しました。

7月4日に開催された仙台市・マイナビ共催「マイナビ進学ライブ×未来ビュー」に参加しました。マイナビ進学ライブは高校生が学び（進学）や将来（卒業後の就職・仕事）に向けて自身で考えるために必要な情報を提供するイベントとして、様々な企業・社会人にも協力を仰ぎ、「進学する目的」「成長意欲」を社会が一体となって与える場であり、将来の地元就職・Uターンにつなげるためのイベントです。



ライブ開始直前の当法人ブースの様子



ライブ終了直後の当法人ブースの様子
ブース参加者 延べ100名

今回参加した企業は

- ① 人やお金が集まる地域にするには何が必要か？
- ② 健康で安全に暮らせる地域にするには何が必要か？
- ③ 地域の環境を守り続けるにはどうしたらよいか？
- ④ 多様な人々が共に生きる地域であるためには何が必要か？
- ⑤ 地域の暮らしや仕事を便利にするためにどのようなテクノロジーが必要か？
- ⑥ 地域の人々の人生をもっと豊かにするにはどうしたらよいか？

といった私たちの身の周りの様々な社会課題に繋がりのある 17 企業でした。

学生の皆さんは、今の自分に、そして将来の自分にどんなことができるのかを考える機会でした。

KEYWORD

社会福祉法人 つどいの家
仙台市若林区上蔵田1丁目17-59
<https://www.tsudoinoie.or.jp>

事業内容 / サービス紹介
しょうがいのある方の地域生活を支える事業を展開しています。日中の通いの場である生活介護事業だけでなく、地域で過ごすために必要な相談事業やヘルパー事業、グループホームなど、13拠点を構え仙台の福祉を支えています。

しごとと学びとの繋がり

文学・歴史・地理	法律・政治	経済・経営・商学	社会学・マスコミ・観光	人間・心理	福祉・介護	語学・外国語	国際・国際関係
数学・数理・化学	工学・建築	情報学・通信	地球・環境・エネルギー	農学・水産学・生物	医学・歯学・薬学・看護・リハビリ	体育・健康・スポーツ	芸術・音楽・美術
栄養・食物	教育・保育	芸術・表現・音楽	総合・教育				

【社会の課題】
しょうがいのある方もいきいきと暮らすことができる地域社会を作る

【課題解決方法】
さまざまな地域社会活動に参加し、しょうがいについて知ってもらう機会を作る。支援者の輪を広げていく。



体験内容 **しょうがい者体験・福祉機器に触れてみよう**

しょうがいがあることで様々な感覚の違いがあることをブースの体験を通じて感じてもらいます。その体験からしょうがいのある方も一緒に生活することができる社会づくりと、そこでかかわる職員の役割を知ってもらいます。

つどいの家は社会課題④【しょうがいのある方もいきいきと暮らすことができる地域社会をつくる】及び、社会課題①～⑥としょうがい分野とのつながりをさまざまな体験を通じて感じていただきました。

～当日の体験コーナーの一部をご紹介します～

【しょうがい者体験コーナー】



しょうがい者の中には細かな手先の作業が苦手な方もいます。利用者さんの感覚・気持ちが体験できるよう軍手を2重にはめて紙花（4枚重ね）を開いてお花にする疑似体験をしました。重なっている紙花を1枚1枚、破れないように開くのに苦戦。4分の時間制限のプレッシャーと、職員からの「きれいに！遅いよ！」などの煽りの掛け声にイラッと。「やりづらい」「いらいら」「いつもは出来るのに」と言いながら皆さん最後まで取り組んで当日は壁一面にお花が咲きました。うまく出来ない人への声掛けの仕方や、やり易くする工夫の仕方が大事ですね！との気付きもありました！！

【福祉機器体験コーナー】



パワースーツをつける前と後の違いを 20 キロのコピー用紙の箱をもってもらいながら感じてもらいました。「かるくなったー！」や「あまり変わらないかも・・・」との感想。介護の際にうまく力を分散させる姿勢や持ち方の工夫で効力がアップする気付きもありました！

こちらは一番人気で列が出来るほどでした。

車椅子乗車体験、乗る方と押す方と二手で体験をしました。安心して乗ってもらうには信頼関係が大事、「頼むぞ！俺の命が掛かっているから」と友達同士声を掛け合いとても好評でした。

医療的ケアの必要な利用者さんの、オーダーメイドの車椅子は体の一部として細部にこだわったつくり「なるほど・・・！」と感心と驚きの声がありました。

その他にも、

【コミュニケーション支援体験コーナー】では、行動の可視化を体験してもらったり、【仙台つどいの家 LIVE 中継】では、仙台つどいの家とオンラインでつないでその日のコンサートや活動の様子を見てもらったり、学生の皆さんも画面越しに手を振ったりと楽しく参加してもらえました。



コミュニケーション支援体験では、自閉症や知的障害のある方の立場になって言葉で複雑な図形を相手に伝え再現してもらった難しさを体験しました。

伝える方と、紙に再現する方と二手に分かれてもらい行いました。「右！もっと上！それぞれ！」など言葉を駆使して必死に伝えてくれました。答え合わせの際は以外な結果に大変盛り上がりました。

学校関係者の皆様へ

福祉業界のしょうがい分野を知ることが出来る体験会を出張開催いたします。

学校等にお伺いしますので、希望される場合は

Jimu-wakabayashi@tsudoioie.or.jp までメールにてご連絡下さい。

お電話の場合は 022-282-4671 社会福祉法人つどいの家 ピポット若林

事務 半沢 まり子